



移住者名	成田 夫妻
都道府県	愛媛県 今治市 関前諸島岡村島
移住先	東京都 新宿区⇒今治市岡村島
移住年	2012 年
職業	会社役員⇒農業・カフェ・宿泊施設
家族構成	夫婦 2 人
移住形態	1 ターン

Q. 移住したきっかけは？

2011 年に起こった東日本大震災。東北の親類や知り合いが被災するのを目の当たりにし、東京も関東大震災がいつ起こっても不思議ではないという現実を突き付けられました。

やりたいことは今すぐに実行しなければと決意。経営していた会社を畳んで、子供のころからの夢であった島暮らしを実現すべく日本中の様々な島を巡りました。

その中でも一番魅力があり気に入ったのが愛媛県今治市の関前諸島。

最終的に瀬戸内海に絞り込んで島巡りをしていた時、たまたま他の島の、フェリー乗り場の港務所でテレビを見てみると、今治市の島嶼部で「地域おこし協力隊」の募集をしているという情報を目にしたのがきっかけです。

直ぐに今治市の島 6 地域を全て廻りましたが、特に関前諸島の魅力に惹きつけられました。

希望は小さな離島での暮らしだったので、島の大きさや集落の密集度、島の人々の温かさ、意外なほどの利便性と離島感が決め手です。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

移住に際して不安だったのは生活していくための糧をどうしたらよいかというのが一番です。

貯金も手持ちのお金も殆ど無い状況からの移住計画でしたので、たまたま地域おこし協力隊として採用されたことは非常にありがたいことでした。

地域おこし協力隊として移住できたことにより、島の全ての方々に知ってもらうことができたこと、そして各種会合や祭りなどにも参加することができてすんなりと地域に溶け込むことが出来ました。そんな地域おこし協力隊も任期が最大 3 年です。卒業後は自分で生計を立てなければなりません、人口 300 人程の島には殆ど就職先がないので基本的には起業という事になります。

起業に際しては、そのことにより島で商売をしている人の生活を圧迫しない（被らない）、みんなが欲していることを熟慮しました。

Q. 移住して良かったことは？

移住した島は関前諸島 3 島で最大の島「岡村島」です。岡村島は今治市からは離島となっていますが、お隣の広島県側の島伝いに本州まで 7 つの橋で接続されています。公共交通機関は船、救急搬送も救急艇と、島の生活は殆ど離島時のまま残されているという点も素晴らしいところです。更にこの島には独特の魅力があります。それは島の人々の温かさと肌で感じる島の明るさ。初めてフェリーで岡村島に降りたときに、今まで廻ってきた他の島では



感じられなかった突き抜けるような明るさがありました。集落は空き家だらけで、人もそんなに歩いていないのに本当に不思議な感覚なのですが、この島を気に入って何度も来てくれる人にその話をすると、みんな同じような印象を持っているようです。島での暮らしは農業を軸に六次産業化の農家カフェと簡易宿泊施設を運営しています。カフェは島の方々が 1 階でみんなが気軽に寄れる場所が欲しいという声を形にした場所。きれいな海と美味しい魚、そして新鮮な野菜、冬には数えきれないほどの最高に美味しい柑橘が食べられます！

Q. 移住を考えている方へメッセージ

移住を考えている方へ参考になりそうなことといえば、何か希望の商売がしたくて移住する方は観光地となっている人口の多い島をお勧めしたいです。

関前諸島のように高齢化率 75% を超え人口 300 人程度で、これといって観光場所が無いような地域への移住は、この島が好きになってどうしても住みたいという想いが欠かせません。

僕たち夫婦も農業・カフェ・宿泊施設の他、移住後に取得した電気工事士の資格を活かし電気工事をしたり、DTP の技術を活かした副業等、様々な仕事を掛け持ちして暮らしています。

リタイア後の方であれば毎日釣りをしながら農業を行う、自給自足の生活も出来るかもしれません。高齢化のため 70 歳代は現役バリバリの実働部隊となっている元気溢れる人々。

島の道路のどこからでも海が見渡せる絶景や、集落がコンパクトでマーケット・郵便局・役場・JA などが集落に集約されている利便性の高い島暮らしは、正に理想の移住生活です。